

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	時間数		
トトロ絵の具の花	6	知 形や色、描き方を工夫して表そう。	知 絵に表したり友達作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気づいている。 液体粘土の特性を生かして、表したい感じになるように、形や色、描き方を工夫して表している。
		思 目の前の花を感じて表したいことを考えよう。	思 目の前の花を感じて表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。
		学 液体粘土の感触を味わいながら、指で描くことをたのしもう。	主 液体粘土の感触を味わいながら、指で描くことをたのしんでいる。
絵の具で遊んで自分色紙	6	知 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしよう。	知 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっていく。 身の回りのもを工夫して使ったり、思いついたものなども試したりして、絵の具遊びをしている。
		思 絵の具の新しい使い方を見つけよう。	思 思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけたりしている。
		学 思いがけない形や色をたのしもう。	主 いろいろな用具を使って、絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことをたのしもうとしている。
コラージュ ～顔がある?～	6	知 質感の違う材料の特性を生かして、つくり方を工夫しよう。	知 質感の異なる材料を配置したり、組み合わせたりして、形や色の感じがわかっていく。 質感の違う材料の特性を生かして、つくり方を工夫している。
		思 材料の特性を生かした構成や色の組み合わせを考えよう。	思 材料の特性を生かした構成や色の組み合わせを考えている。
		学 質感の異なる材料をコラージュしながら、顔をつくることを楽しもう。	主 質感の異なる材料をコラージュしながら、顔をつくることを楽しんでいる。
くもの巣アート	6	知 のごぎりの使い方やくもの巣のつくり方を工夫しよう。	知 のごぎりで角材を切ったり、くもの巣をつくりながら、形や色の感じがわかっていく。 のごぎりの扱いに慣れ親しみながら、どのようにのごぎりを使うとよいか考え、くもの巣の作り方や糸のかけ方を工夫している。
		思 自分なりのくもの巣を考えよう。	思 切ってきた形の感じから想像を広げ、自分なりのくもの巣を思いつき、どのように表していくかについて考えている。
		学 のごぎりで木を切って、くもの巣をつくることをたのしもう。	主 木の感触に親しみながら、のごぎりを使って角材を切り、くもの巣をつくることをたのしもうとしている。
きれいなちょうちょ	4	知 切り立て技法を使ったちょうちょの模様を工夫している。	知 ちょうちょの模様をつくることを通して、切り立て技法の特徴や感じがわかっていく。 カッターナイフを安全に使い、表したいことをもとに工夫して表している。
		思 切り立て技法を使ったちょうちょの模様を考えよう。	思 切り立て技法を使った表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。
		学 紙を切るたのしさを味わおう。	主 カッターナイフで紙を切る快さを味わいながら、活動にたのしく取り組みようとしている。
ひみつきちへようこそ	10	知 電動糸のごぎりの使い方や木切れの組み合わせ方を工夫しよう。	知 電動糸のごぎりで木材を切りながら、いろいろな木材の形の感じがわかっていく。 電動糸のごぎりの扱いに慣れ親しみながら、どのように使うとよいか考え、切り方や木切れの組み合わせ方を工夫している。
		思 木切れから、つくりたいものを考えよう。	思 切ってきた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせるかを表していくかについて考えている。
		学 電動糸のごぎりで木を切ることやひみつきちをつくることをたのしもう。	主 木の感触に親しみながら、電動糸のごぎりを使って木材を切ってひみつきちをつくることをたのしもうとしている。
楽シーサー	6	知 シーサーや沖縄の特徴を考えて、つくり方を工夫しよう。	知 立体の動きやバランスを理解している。 シーサーや沖縄の特徴を考えながら、表したいことに合わせてつくり方を工夫している。
		思 自分なりのシーサーを考えよう。	思 自分のイメージをもちながら、表したいシーサーを考えている。
		学 シーサーをつくることをたのしもう。	主 粘土の手触りを味わい、シーサーをつくることをたのしもうとしている。
トントンつないで	6	知 つなぎ方や動き方を工夫しよう。	知 角材と板を接合することを通して、形や色、組み合わせたときの動きなどの感じがわかっていく。 のごぎりや金づち、釘を使いながら、つなぎ方や動き方を工夫して表している。
		思 動く仕組みから、つくりたいものを考えよう。	思 角材と薄い板を釘でつないで生まれる動きから、自分のイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのようにつくるかについて考えている。
		学 切ったり、つないだりすることをたのしもう。	主 角材を切ったり、薄い板と釘でつないだりすることをたのしもうとしている。
ゆめいろらんぷ	6	知 ランプの材料や色の組み合わせを工夫しよう。	知 材料の形や色の組み合わせを光を通して試すことを通して、材料の形や色の特徴や感じがわかっていく。 用具を適切に使い、光を透過する材料の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫している。
		思 光を通した感じから、つくりたいランプを考えよう。	思 映る光の色や影の形からイメージを広げてつくりたいランプの形を見つけ、表し方について考えている。

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準

題材名	時間数		
		学 ランプをつくり、みんなで飾ることをたのしもう。	主 材料を透過する光の美しさや面白さなどを自分の感覚で感じながらランプをつくり、みんなでランプを飾ることをたのしもうとしている。
飛び出すハッピーカード	4	知 飛び出す仕組みを生かしたカードを工夫しよう。	知 飛び出す仕組みのカードをつくることを通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。 飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて、形や色や組み合わせ方を工夫している。
		思 贈る相手を思い浮かべてカードを考えよう。	思 贈る相手のことを思い浮かべながら、伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。
		学 カードで気持ちを伝えることをたのしもう。	主 つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。